

# 施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
都市整備部	松本 壽次	63-7740 (営繕住宅室)

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	住宅・住環境

## 1. 施策の基本方針 Plan

- ・魅力ある市街地整備や都市機能、就業環境等の向上などに取り組みます。
- ・地域特性や周辺環境との調和を図り、景観形成やまちづくりと連携しながら、住宅・住環境の整備を進めます。
- ・誰もが快適で安心して暮らすことができるユニバーサルデザインを基本とした住宅・住環境の整備を促進します。

## 2. 目標

### ○重点目標 Plan

- ・「名張市既存借上型市営住宅制度」の導入及び「指定管理者制度」の活用により、今後も市営住宅の適正な供給と管理に取り組みます。
- ・住宅・住環境の整備を進めるため、「名張市耐震改修促進計画」に基づき、木造住宅の無料耐震診断等を実施し、地震に強いまちづくりを目指します。
- ・建築基準法上の道路種別の判定結果についての点検及び年度毎の新規情報の入力等を行い、建築確認申請者や土地売買者への速やかな情報提供が可能となるよう指定道路台帳の補完を行います。
- ・誰もが快適で安心して暮らすことができる住宅・住環境の整備を促進します。

### ○目標達成に向けた課題 Plan

- ・市営住宅の確保については、新たな住宅の建設が難しい中、「名張市営住宅等長寿命化計画」に基づく改修による既存ストックの有効活用や、「名張市既存借上型市営住宅制度」を引続き推進する必要があります。
- ・耐震補強工事には国、県及び市の一定の補助はあるものの高額な費用負担を伴うことから、耐震化を促進するためには所有者自らがその必要性を理解し、判断・決定するための情報提供と啓発が必要です。
- ・建築基準法上の道路種別の判定に伴い発生する問題点を整理する必要があります。
- ・少子高齢、人口減少社会に対応するため、「名張市住宅マスタープラン(住まいるプラン)」の見直しを進める必要があります。

<行政評価委員会からの意見>  
意見なし

### ○施策指標(目標)及び達成状況 Plan Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
安心して暮らし続けることができる住環境にあると感じている市民の割合 (%)	目標	-	-	62.0	-	-	65.0	54%
	成果	58.9	60.5	61.8	67.6	62.2		
木造住宅の耐震診断受診率 (%)	目標	-	-	0.7	-	-	0.8	0%
	成果	0.6	0.7	0.6	0.3	0.3		
都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】 (回)	目標	-	-	68	-	-	113	83%
	成果	8	37	60	82	95		

## 3. 取組内容

### ○課題解決への取組内容 Do

- ・「名張市営住宅等長寿命化計画」において、今後長寿命化を図るべき住宅については、平成24年度より、耐久性向上のための改修工事を継続して実施しています。
- ・建築基準法上の道路種別の判定に伴う問題点の解決策についての検討、また判定に関わる新たな事実が判明した場合には、検討及び修正を行います。
- ・名張中古住宅流通促進協議会によるコーディネート及びインスペクション(住宅診断)からリフォーム等を実施し、空き家解消のための中古住宅流通の促進に取り組みました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>  
意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **D<sub>o</sub>**

・木造住宅無料耐震診断及び耐震補強や指定管理者制度による民間借上げ住宅を含めた市営住宅等の管理については、関係団体との協働により、適切な役割分担と連携により事業を推進しています。  
 ・中古住宅の流通促進については、桔梗が丘自治連合協議会が進める地域ビジョンの取組と連携し、地域の活性化を図りました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 9 事業)

**D<sub>o</sub>** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2013 (H25)	2014 (H26)					
1126	木造住宅耐震診断事業	営繕住宅室	1,154	1,159	B	実践している	継続(現行)	B	B
1176	借上型市営住宅事業	営繕住宅室	13,482	14,562	B	実践している	継続(現行)	B	B
1213	指定道路台帳整備事業	建築開発室	30,127	1,446	B	該当しない	継続(縮小)	B	B
3067	木造住宅耐震補強事業	営繕住宅室	7,472	5,016	B	実践している	継続(現行)	B	B
3202	がけ地近接等危険住宅移転事業	営繕住宅室	0	3,311	B	該当しない	継続(現行)	B	B
4032	地域住宅交付金事業	営繕住宅室	15,405	15,777	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5035	住宅維持費	営繕住宅室	37,778	37,926	B	実践している	継続(現行)	B	B
6090	住宅総務一般経費	営繕住宅室	686	1,054	—	該当しない	継続(現行)	—	B
8003	住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業	営繕住宅室	0	0	A	実践している	継続(現行)	A	A
合計(単位：千円)			106,104	80,251					
小計(うち、一般会計分)			106,104	80,251					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価

**Check**

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和56年以前に建築された耐震補強が必要な木造住宅が今も数多く現存していると考えられることから、今後も国や県と協力して、耐震診断や耐震補強設計、補強工事への支援を継続していく必要があります。</li> <li>・「名張市営住宅等長寿命化計画」において、今後長寿命化を図るべき住宅の内当該年度で予定していた住宅については、改修工事を実施し耐久性向上を図ることができました。</li> <li>・平成25年度の指定道路台帳整備業務による判定結果の点検を行い、詳細調査必要路線の抽出を行いました。</li> </ul>

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

・安全で快適な住環境の創出に向け、市営住宅については、「名張市既存借上型市営住宅制度」の活用による住宅ストックの確保や、「名張市営住宅等長寿命化計画」による耐久性向上のための改修工事の実施、「指定管理者制度」による適正な維持管理を継続する一方、土地利用については、地区計画等の制度を活用し、地域のまちづくりと連携しつつ住環境の保全・向上に努めます。

・「名張市住宅マスタープラン」の改訂版としての「名張市住生活基本計画」の策定については、今年度全面改訂される全国計画とその後改訂される三重県計画を基に名張市の実情に即した計画の策定に取り組みます。

・「三重県居住支援連絡会」への参画により、住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居支援を不動産団体や社会福祉協議会等と連携し、居住支援を行います。

・指定道路台帳整備事業による指定道路図や構築されたシステムを活用し、道路拡幅等の住環境整備を推進します。

・住宅団地をはじめ市内全域で近年空き家が増加していることから、空き家の減少と人口流出を食い止めるため、それら戸建住宅を若年層の子育て世帯が手頃な価格で取得または賃借できるような支援を推進します。